

レ全會派ノ合法性ノ獲得、合法全國本部ノ確立ヲスロ一ガントレテ之レガ實現ニ奔走シタノデアルガ、其ノ後青木、町田ノ間ニ感情上ノ確執ヲ生ズルニ至リテ遂ニ此ノ運動モ一頓座ヲ來シ其ノ見透シガ付カナクナツテ來タ、茲ニ於テ全會派幹部ノ一部ニ於テモ「全會派ガ從來通りノ假面ヲ着ナガラ此ノ儘推移スルニ於テハ徒ラニ組織ヲ潰滅ニ導クノメデ他ニ何物モナイ。而シテ現在吾々ガ實踐シツ、アル運動方針ナルモノハ總本部派ノ夫レト何等變リハナイ、而シテ社會狀勢ハ益々統一セル強力ナル運動ヲ要求シツ、アル、宜敷ク吾々ハ過去ノ一切ヲ清算シテ總本部派ト協力スベキダ」ト云フ意見ヲ持スルモノアルニ至ツタ。兩派如斯キ情勢下ニアルニ乘ジ一部幹部（全會派、西納、總本部派、増田、伊藤）ノ暗躍トナリ、昨年末頃ヨリ漸次兩派ノ間ニ合同問題ガ表面化スルニ至ツタノデアル。

#### 近畿地方ノ戰線統一カラ全國的合同へ

財團法人協調會大阪支所

其處テ兩派ノ幹部ハ先ヅ地方的ニ一應兩派ノ戰線ヲ統一シテ之ヲ全國的合同完成ヘト導クコト、レ、總本部派幹部増田操、伊藤實等ハ關係縣聯幹部ト協議劃策シテ本年二月一日總本部派タム和歌山及徳島兩縣聯ノ名ノ下ニ近畿地方農民日本協議會ノ開催ヲ提唱セシメタ、之ニヨリ總本部派増田、伊藤、全會派田邊、西納等ハ種々協議ノ上前記ノ提唱ヲ變更シ總本部、全會兩派ノ全々中間的立場ニアル奈良縣聯合會ヲレテ提唱セシメルコト、レ全月十日奈良縣聯ノ名ヲ以テ本年二月二十一日大阪土佐期青年會館ニ於テ近畿地方農民團體懇談會開催ヲ提唱セシメ近畿各府縣聯ニ對シテ其ノ案内狀ヲ發送シタ。

二月二十一日開催ノ近畿地方農民團體懇談會ニ於テハ近畿二府六縣（大阪、京都、奈良、和歌山、岡山、福井）ノ兩派ノ首腦者五十三名ガ集合懇談ヲ遂ゲタ結果、兩派ハ從來ノ政治的、思想的感情ノ一切ノ懸隔ヲ捨テ、大衆團體トシテノ立場カラ農民ノ戰線統